

# 広げよう子育てを支える地域の輪

子どもたちは次代を担う「未来の大人」。その子どもたちが、健やかに生まれ育つことは、私たちみんなの願いです。近年、子どもを取り巻く環境は親の世代と比べて大きく変化しています。そうしたなかで、子どもたちが健やかに育つことのできる環境をつくることは、すべての大人の役割です。家庭や学校だけでなく、地域や企業など社会全体で、子どもを大きくむ環境づくりを考えましょう。

## 子どもが危ない

5月5日は「こどもの日」。子どもの健やかな成長を願う気持ちは、昔も今も変わりません。

しかし、近年、その子どもたちをめぐって、いじめや不登校、ひきこもり、少年の非行や犯罪の増加、児童虐待や子どもが被害者となる犯罪の増加など、暗い事件が相次いでいます。こうしたなかで、子どもたちの健やかな心の成長や子どもたちを取り巻く身近な社会の安全が脅かされています。

子どもたちの安全を守り、心身ともに健やかに育てることは、家庭や学校だけでなく、社会全体の大人の役割です。子どもたちは、家庭や学校、地域や社会のなかで育ち、そこで接する大人たちやメディアの情報、社会風潮など社会全体の影響を受けながら成長します。次代を担う子どもたちを健やかに育てるために、社会全体の大人が、そのための環境を

## つくっていかねばなりません。

### 子育てに悩む親たち

子どもの成長に最も大きな影響を与える環境は家庭です。家族との温かいふれあいを通じて、子どもの豊かな心は大きく育ちます。

近年、親は仕事で、子どもが塾で忙しいなど、親子のふれあいの時間は少なくなっています。また、父親の子育てへの参加が少なく、母親の負担が大きくなっていることから、「子育てに自信がもてない」「仕事や自分のことをする時間がない」といった悩みを抱える母親も多くなっています。こうした子育てに対するストレスは、母親による児童虐待の要因にもなっています。

子どもを健やかに育てていくためには、父親も子育てに積極的に参加することが大切です。また、子育てをする親たちが、子育てや子どもと過ごす時間を十分とれるよう、企業

## など社会全体で支援していくことも重要です。

### 地域で子育てを支える

地域は子どもと家庭にとって最も身近な場です。子どもを見守る地域の大人の存在は、犯罪や非行、児童虐待などから子どもを守ります。

また、地域は、学校外での遊びや活動などを通じて、子どもが豊かな心をはぐくむ場でもあります。子どもたちが安心して遊べる場所をつくる、子どもたちの自然体験活動や社会参加活動を支援するなど、地域の大人たちが、子どもの心の成長のための環境をつくることも重要です。

地域の人のつながりは、子育てをする親にとって、身近に相談できる人がいるという安心にもつながります。地域の子育てのサポーターとして、地域の大人の役割が重要になっています。

### 児童福祉週間

毎年、5月5日(こどもの日)から11日までの1週間は「児童福祉週間」です。この週間は、児童福祉の理念の周知と児童を取り巻く諸問題への社会的関心の喚起を図るため、昭和22年に定められました。

「児童福祉の理念」は、児童福祉法第二条第一項に「すべての国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、かつ育成されるよう努めなければならない」とうたわれています。この児童福祉の理念に基づいて、私たちに、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つことのできる環境をつくっていく責任があります。

平成16年度の児童福祉週間のスローガンは、「広げよう 子育てを支える 地域の輪」。皆さんも、児童福祉週間で、皆さん、家庭、学校、職場、地域社会、それぞれの立場で、子どもが健やかに育てる環境について考えてみませんか。



平成16年度「児童福祉週間」ポスター